

世界にはばたく 山形のさくらんぼ



「山形のさくらんぼ」は今シーズンも、愛らしい姿と芳醇な甘さで、多くの人々を魅了し、観光振興にも大きな役割を果たしています。庄交コーポレーション代表取締役の國井英夫さんがこのほど、品質の高いさくらんぼを生産する山辺町の多田農園を訪れ、多田耕太郎代表取締役と語り合いました。

國井氏と多田農園一つながりと今



多田 國井さんとは、荘内銀行頭取を務めておられたところからのお付き合いです。法人化する際、荘内銀行の方にお世話になり、その後何度か顔を合わせる機会がありました。あるとき、國井さんがご夫婦で農園を訪れてくださり、それから親しくさせていただいています。

國井 お取引先との会合で初めてお会いしたとき、握手した手の厚さ、力強さが強く印象に残りました。農業に夢を抱

き、前向きな姿勢で取り組む人は、当時も今もそうはいないと思います。多田さんの熱意と、さまざまな人の共感を集める人間力は素晴らしいです。

多田 私も銀行の方から「國井頭取は今までの頭取とは違う」との話を伺っていました。いろいろお話しさせていただく中から、私自身も多くのことを学ばせていただきました。

國井 大学は農学部だったので、農業には思い入れが強いですよ。

「多田農園のさくらんぼ」の魅力と価値

多田 庄交グループが運営する庄内観光物産館でも、多田農園のさくらんぼを扱っていただいています。県内トップクラスの集客力のある施設ですから、外国人を含めたより多くの人にさくらんぼの魅力を知ってもらえ、喜ばしいです。

國井 「多田農園のさくらんぼ」はリピート率が高く、「憧れの「多田農園のさくらんぼ」を味わって感動した」との感想もありました。多田農園は既に一流のブランド力を獲得しているのですね。一流の物を扱うことは、庄内観光物産館のブランド力向上にもつながるので光栄です。そして、「評判」はブランド力に直結するので、一度獲得した評判を落とさないことが大切だと思います。

多田 いい物を作り、その物に見合った正当な価格で販売する。このことが、地域経済のためにも役立つのですね。



多田耕太郎
株式会社多田農園 代表取締役

國井英夫氏
株式会社 庄交コーポレーション 代表取締役

山形の発展に向けて一農業×観光の今後

國井 人口が減少する中、「インバウンド(外国からの旅行)」と「輸出」に力を入れていかないと、地域の経済力は縮小します。庄交グループもインバウンド対応に力を入れ、自然や文化、食などの「山形の魅力」を広く発信していこうとしています。さくらんぼも味わうだけでなく、収穫体験などができれば、日本のどこにもない強みになりますね。

多田 さくらんぼは収穫の時期が限られるので、複数の品種を導入したり、独自の冷蔵保存技術を開発したりして、少しでも長く味わってもらえるよう工夫と努力をしているところです。また、ブランド力を維持するために、担い手となる人を育てることも必要です。「さくらんぼをやってみたい」と相談を受けることがたびたびありますが、ただ作るだけで「販路」を考えていない人が多いですね。これからの農業には、経営的な感覚が必要だと思います。

國井 インバウンドの拡大で、農産品の付加価値を高める効果が期待できます。市場の変化や、顧客のニーズに「対応する力」も、これからの農業には必要になるでしょう。「多田農園のさくらんぼ」が高い評価を獲得したように。



やまのへ多田耕太郎のさくらんぼ

多田農園

〒990-0300 山形県東村山郡山辺町元宮63-2

TEL.023-664-8302 FAX.023-664-8336

<http://www.tadanoen.com>

山形多田農園 検索